

BROADCASTING SYSTEM

Patent Number: JP2002236835
Publication date: 2002-08-23
Inventor(s): NAKAI SHINICHI; SUZUKI HIROYUKI; ITO MASAO
Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Requested Patent: ☐ JP2002236835
Application Number: JP20010031939 20010208
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F17/60; H04H1/00; H04N7/08; H04N7/081; H04N7/173
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve problems of being unable to determine original or imitation of a coupon, feed back information obtained by coupon use to a broadcasting station and an advertisement enterprise, and restrict a coupon using frequency in a conventional coupon issuable broadcasting system.

SOLUTION: This broadcasting system is composed of a program distributing part for distributing coupon information, a program receiving means for receiving the coupon information, a coupon printing means for printing the coupon on the basis of the coupon information received by the program receiving means, a coupon reading part for reading the coupon information, and a coupon original-imitation determining part for determining original or imitation of the coupon to determine the original or imitation, and is provided with a coupon using information transmitting part to feed back the information obtained by the coupon use to the broadcasting station and the advertisement enterprise, and is provided with a coupon using history storage part for storing a using history of the used coupon to restrict the coupon using frequency.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-236835

(P2002-236835A)

(43)公開日 平成14年8月23日(2002.8.23)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テーマコード(参考)

G 0 6 F 17/60

3 2 4

G 0 6 F 17/60

3 2 4

5 C 0 6 3

H 0 4 H 1/00

H 0 4 H 1/00

N

5 C 0 6 4

H 0 4 N 7/08

H 0 4 N 7/173

6 4 0 Z

7/081

7/08

Z

7/173

6 4 0

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 12 頁)

(21)出願番号

特願2001-31939(P2001-31939)

(22)出願日

平成13年2月8日(2001.2.8)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 中井 信一

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 鈴木 浩之

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

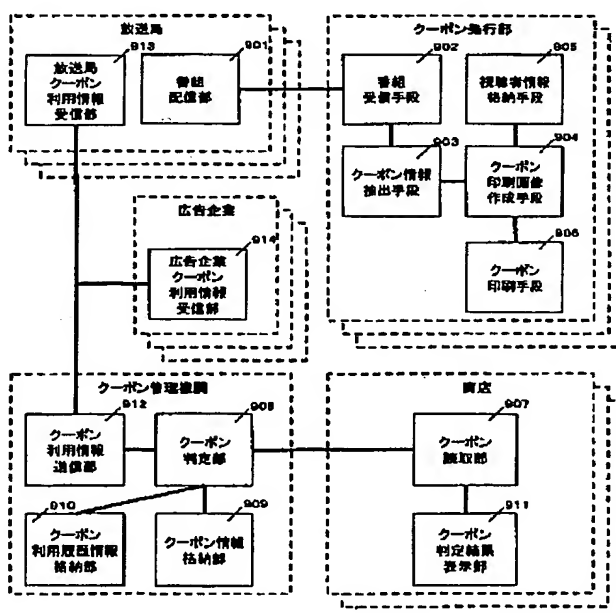
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 放送システム

(57)【要約】

【課題】 従来のクーポン発行可能な放送システムでは、クーポンの真贋判定、クーポン利用に伴い得られた情報の放送局や広告企業に対するフィードバック、クーポン利用回数制限を行うことができなかった。

【解決手段】 クーポン情報を配信する番組配信部と、前記クーポン情報を受信する番組受信手段と、前記番組受信手段で受信したクーポン情報を基にクーポンを印刷するクーポン印刷手段と、クーポン情報を読み取るクーポン読取部と、クーポンの真贋を判定するクーポン真贋判定部から構成されることにより真贋判定を可能とし、さらにクーポン利用情報送信部を備えることで、クーポンの利用に伴い得られた情報の放送局や広告企業に対するフィードバックを可能とし、さらに利用されたクーポンの利用履歴を格納するクーポン利用履歴情報格納部を備えることでクーポンの利用回数を制限することを可能とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも番組コンテンツに関連したクーポン情報を配信する番組配信部と、前記クーポン情報を含めてクーポンを発行するクーポン発行部と、前記クーポン発行部により発行されたクーポンからクーポン情報を読み取るクーポン読取部と、前記番組配信部より配信されたクーポン情報を格納するクーポン情報格納部と、前記クーポン読取部により読み取られたクーポン情報が前記クーポン情報格納部に存在するかを確認することによりクーポンの真贋判定を行うクーポン真贋判定部を備えることを特徴とする放送システム。

【請求項2】 少なくとも番組コンテンツに関連したクーポン情報と利用されたクーポンに含まれる情報を取得する広告企業クーポン利用情報受信部を特定する受信部IDを配信する番組配信部と、視聴者情報を格納する視聴者格納手段と、前記クーポン情報、前記受信部ID、視聴者情報を含めてクーポンを発行するクーポン発行部と、前記クーポン発行部により発行されたクーポンからクーポン情報、受信部ID、視聴者情報を読み取るクーポン読取部と、前記番組配信部より配信されたクーポン情報を格納するクーポン情報格納部と、前記クーポン読取部により読み取られたクーポン情報が前記クーポン情報格納部に存在するかを確認することによりクーポンの真贋判定を行うクーポン真贋判定部と、前記クーポン真贋判定部により真と判定された場合に、前記受信部IDによって特定される広告企業クーポン利用情報受信部に対し前記視聴者情報を送信するクーポン利用情報送信部を備えることを特徴とする放送システム。

【請求項3】 少なくとも番組コンテンツに関連したクーポン情報と前記クーポン情報に対応付けられたクーポン利用制限回数を配信する番組配信部と、前記クーポン情報を含めてクーポンを発行するクーポン発行部と、前記クーポン発行部により発行されたクーポンから前記クーポン情報を読み取るクーポン読取部と、前記番組配信部より配信されたクーポン情報と前記クーポン情報に対応付けられたクーポン利用制限回数を格納するクーポン情報格納部と、クーポンの利用回数を前記クーポン情報と対応付けて格納するクーポン利用履歴情報格納部と、前記クーポン読取部により読み取られたクーポン情報が前記クーポン情報格納部に存在するかを確認することによりクーポンの真贋判定を行うとともに、前記クーポン利用履歴情報格納部に格納されている利用回数が、前記情報格納部に格納されているクーポン利用制限回数を越えていないかを判定するクーポン判定部を備えた放送システム。

【請求項4】 番組コンテンツに関連したクーポン情報を受信する番組受信手段と、前記クーポン情報を含めてクーポンを印刷するクーポン印刷手段を備えることを特徴とするクーポン印刷装置。

【請求項5】 番組コンテンツに関連したクーポン情報

を受信する番組受信手段と、視聴者情報を格納する視聴者情報格納手段と、前記クーポン情報と前記視聴者情報を含めてクーポンを印刷するクーポン印刷手段を備えることを特徴とするクーポン印刷装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、クーポンの印刷が可能な放送システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、通信技術および情報処理技術の発展により、衛星、地上波などの放送において番組コンテンツ内に含めることが可能な付加情報を利用してクーポンを印刷する方式が提案されている。なお本発明で述べられているクーポンとは、紙面などに対する印刷物、もしくは携帯電話などに蓄積された電子データを指す。クーポンを商店などに持参することにより、割引等のサービスを受けることが可能となる。

【0003】以下、従来のクーポンが印刷できるシステムとして知られている、特開平11-346352について図面を参照しながら説明する。

【0004】図16は特開平11-346352における放送システムの構成図である。図16において、1301は放送局、1302は受信機、1303はデータ受信回路、1304は記憶装置、1305は表示I/F、1306は入力装置、1307は処理回路、1308は識別情報回路、1309は印字I/F、1310はモニタ、1311はプリンタ、1312はリモコンである。

【0005】以上のように構成された放送システムにおいて、以下にその動作について説明する。

【0006】データ受信回路1303を介して、放送波から全クーポン情報（各店名、各クーポン有効年月日、各商品名、各商品の価格等）を抽出し、モニタ1310に表示する。リモコン1312によりクーポン情報を選択し、これに記憶装置1304に記憶されている個人情報と識別情報回路1308からのクーポン生成装置固有の固有情報と合わせてプリンタ1311よりクーポンを印刷出力する。

【0007】上記構成により、放送を利用しクーポンを印刷することに加え、視聴者が個人情報記載時の利便性を増大させることにより、個人情報記載への抵抗感なくクーポンを利用することができる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら実際にクーポンを利用するサービスを想定した場合、クーポンが偽造されて利用される可能性があり、利用される際に何らかの真贋判定が必要となる。

【0009】また、クーポンを利用した際に得られたクーポン情報、視聴者情報をフィードバックしてもらいマーケティング情報として利用したいという企業側の要請もある。

【0010】さらに、クーポンのサービス形態によっては、1回のみ利用可能や3回まで利用可能といった利用回数を制限するための利用履歴の管理が必要となる場合もある。

【0011】しかし、上記の従来の構成では、これらの真贋判定、クーポン利用により得られた情報のフィードバック、利用履歴管理を行うことができなかった。本発明は上記従来の課題を解決するもので、クーポンが利用される際に真贋判定、クーポン利用により得られた情報の放送局、広告企業に対するフィードバック、利用履歴管理が可能となる放送システムを提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決する手段】この目的を達成するために、請求項1の放送システムでは、クーポン読取部により読み取られたクーポン情報が番組配信部から配信されたクーポン情報を格納するクーポン情報格納部に存在するかを確認することによりクーポンの真贋判定を行うクーポン真贋判定部を備えたことにより、クーポンの真贋判定が可能となる。

【0013】請求項2では、利用されたクーポンに含まれる情報を取得する広告企業利用受信部を特定する受信部IDを配信する番組配信部と、視聴者情報を格納する視聴者格納部と、前記クーポン情報、前記受信部ID、視聴者情報を含めてクーポンを発行するクーポン発行部と、前記クーポン発行部により発行されたクーポンからクーポン情報、受信部ID、視聴者情報を読み取るクーポン読取部と、前記受信部IDによって特定される広告企業利用受信部に対し前記視聴者情報を送信するクーポン利用送信部を備えることにより、利用されたクーポン情報を企業にフィードバックすることが可能となる。

【0014】請求項3では、クーポン情報に対応付けられたクーポン利用制限回数を配信する番組配信部と、前記番組配信部より配信されたクーポン情報と前記クーポン情報に対応付けられたクーポン利用制限回数を格納するクーポン情報格納部と、クーポンの利用回数を前記クーポン情報と対応付けて格納するクーポン利用履歴情報格納部と、前記クーポン利用履歴情報格納部に格納されている利用回数が、前記情報格納部に格納されているクーポン利用制限回数を越えていないかを判定するクーポン判定部を備えることにより、利用回数を予め制限させて利用させることが可能となる。

【0015】請求項4では、番組コンテンツに関連したクーポン情報を受信する番組受信手段と、前記クーポン情報を含めてクーポンを印刷するクーポン印刷手段を備えたクーポン印刷装置により、真贋判定が可能なクーポンを発行することが可能となる。

【0016】請求項5では、番組コンテンツに関連したクーポン情報を受信する番組受信手段と、視聴者の情報を格納する視聴者格納部と、前記クーポン情報と視聴者

情報を含めてクーポンを印刷するクーポン印刷手段を備えることを特徴とするクーポン印刷装置により、マーケティング情報に利用可能なクーポンを発行することが可能となる。

【0017】

【発明の実施の形態】（実施の形態1）以下、本発明第一の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。図1は本実施の形態における放送システムの構成図である。

【0018】図1において、101は番組配信部、102は番組受信手段、103はクーポン情報抽出手段、104はクーポン印刷画像作成手段、105はクーポン印刷手段、106はクーポン読取部、107はクーポン真贋判定部、108はクーポン情報格納部、109はクーポン真贋判定結果表示部である。また、番組配信部101は番組を放送する放送局内に、番組受信手段102、クーポン情報抽出手段103、クーポン印刷画像作成手段104、クーポン印刷手段105は番組視聴者の受信機や印刷装置（総称してクーポン発行部という）内に、クーポン読取部106、クーポン真贋判定結果表示部109はクーポンの対象となる商品、サービスなどを提供する商店内に、クーポン真贋判定部107、クーポン情報格納部108はクーポン管理機関内に存在している。また、本実施例の放送システムにおいて放送局、視聴者、商店の数に制限はない。

【0019】以上のように構成された放送システムにおいて、以下その動作について説明する。放送局において、番組配信部101はクーポン情報を含んだ番組コンテンツを視聴者に向けて放送する。クーポン情報とは番組配信部から配信される情報であり、視聴者の印刷機においてクーポンを印刷するために必要な情報やシステムでクーポンの不正を防ぐための情報で、例えばクーポンによって視聴者の受けることができるサービスの内容、クーポンに表示される画像、クーポン情報を特定するクーポンIDをいう。

【0020】図2は配信されるクーポン情報の例である。なお、図2の例ではほとんどのクーポン情報がテキストの形で記述されているが、バイナリデータなどに交換して情報量を圧縮しても良い。

【0021】なお、クーポン情報は放送される以前に放送局からクーポン管理機関内のクーポン情報格納部108へ格納されている。クーポン情報をクーポン情報格納部108に格納する方法は、例えば番組配信部とクーポン管理機関がネットワークでつながれており、このネットワークを用いて、番組放送前または番組放送時にクーポン情報をクーポン情報格納部108に格納する方法や、クーポン情報を可搬型記録媒体に格納し、人手などを用いて放送局からクーポン管理機関に送付し、前記媒体を受けたクーポン管理機関がクーポン情報格納部108に格納する方法等が想定される。

【0022】クーポン情報抽出手段103は番組受信手段102が受信した番組コンテンツからクーポン情報を抽出する。

【0023】クーポン印刷画像作成手段104はクーポン情報抽出手段103で抽出されたクーポン情報からクーポン印刷画像を作成し、クーポン印刷手段105に印刷させる。その際、商店での読み取りを容易にするためクーポン情報をバーコードなどの機械的に読取可能なコードに変換したものも印刷している。図3は印刷されたクーポンの例である。

【0024】印刷したクーポンを視聴者が商店に持参し利用する際、商店の店員はクーポン読取部106にてクーポンからクーポン情報を読み取る。クーポン読取部106で読み取られたクーポン情報はクーポン真贋判定部107に送信される。

【0025】クーポン真贋判定部107の処理を図4のフローチャートを利用して説明する。クーポン読取部106から送信されたクーポン情報を受信すると（ステップ401）、クーポン情報格納部108内に、ステップ401で受信したクーポン情報が存在しているかどうかを判定し（ステップ402）、同一のクーポン情報が存在していなければ“贋”という結果をクーポン読取部106に返信する（ステップ403）。ステップ402で同一のクーポン情報が存在していれば“真”という結果をクーポン読取部106に返信する（ステップ404）。

【0026】クーポン読取部106はクーポン真贋判定部107で判定された結果をクーポン真贋判定結果表示部109に表示させる。

【0027】以上のように本実施の形態のよれば、クーポン真贋判定結果表示部109の結果を商店の店員が確認することで、利用されようとするクーポンが正規に放送局から配信されたクーポンであるかどうかの真贋判定を行うことができ、贋のクーポンの利用を未然に防ぐことが可能となる。

【0028】（実施の形態2）以下、本発明第二の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。図5は本実施の形態における放送システムの構成図である。

【0029】図5において、501は番組配信部、502は番組受信手段、503はクーポン情報抽出手段、504はクーポン印刷画像作成手段、505は視聴者情報格納手段、506はクーポン印刷手段、507はクーポン読取部、508はクーポン真贋判定部、509はクーポン情報格納部、510はクーポン真贋判定結果表示部、511はクーポン利用情報送信部、512は放送局クーポン利用情報受信部、513は広告企業クーポン利用情報受信部である。

【0030】番組配信部501、放送局クーポン利用情報受信部512は番組を放送する放送局内に、番組受信手段502、クーポン情報抽出手段503、クーポン印

刷画像作成手段504、視聴者情報格納手段505、クーポン印刷手段506は番組視聴者の受信機または印刷装置内に、クーポン読取部507、クーポン真贋判定結果表示部510はクーポンの対象となる商品、サービスなどを提供する商店内に、クーポン真贋判定部508、クーポン情報格納部509、クーポン利用情報送信部511はクーポン管理機関内に、広告企業クーポン利用情報受信部513はクーポンの対象となる製品を製造またはサービスを提供し、広告等を目的として、放送局に対して番組にクーポン情報を番組コンテンツに含めて配信するよう依頼している企業（本実施例では広告企業と呼ぶ）内に設置されている。

【0031】なお、本実施例の放送システムにおいて、放送局、視聴者、商店、広告企業の数に制限はない。

【0032】以上のように構成された放送システムにおいて、以下その動作について説明する。放送局において、番組配信部501はクーポン情報とクーポンを広告した広告企業へ送信するための各放送局、広告企業を特定するための放送局IDや広告企業ID（総称して受信部IDという）とを含んだ番組コンテンツを視聴者に向けて放送する。クーポン情報とは、番組配信部により配信される情報で、視聴者の印刷機においてクーポンを印刷するために必要な情報やシステムでクーポンの不正を防ぐための情報で、例えばクーポンによって視聴者の受けることができるサービスの内容、クーポンに表示される画像、クーポン情報を特定するクーポンIDなどに加え、クーポンが利用されたことによって得られた情報を、クーポン情報を配信した放送局、番組コンテンツを特定する番組IDを指す。

【0033】図6は配信されるクーポン情報の例である。なお、図6の例ではほとんどのクーポン情報がテキストの形で記述されているが、バイナリデータなどに交換して情報量を圧縮しても良い。

【0034】なお、クーポン情報は放送される以前に放送局からクーポン管理機関内のクーポン情報格納部509へ格納されている。クーポン情報をクーポン情報格納部509に格納する方法は、例えば番組配信部とクーポン管理機関がネットワークでつながれており、このネットワークを用いて、番組放送前または番組放送時にクーポン情報をクーポン情報格納部509に格納する方法や、クーポン情報を可搬型記録媒体に記録し、前記可搬型記録媒体を放送局からクーポン管理機関に送付し、前記媒体を受けたクーポン管理機関がクーポン情報格納部509に格納する方法等が想定される。

【0035】クーポン情報抽出手段503は番組受信手段502が受信した番組コンテンツからクーポン情報を抽出する。クーポン印刷画像作成手段504はクーポン情報抽出手段503で抽出されたクーポン情報と視聴者情報格納手段505内に格納されている視聴者情報からクーポン印刷画像を作成し、クーポン印刷手段506に

印刷させる。視聴者情報とは視聴者の氏名などの個人情報やどの番組を視聴していたかという視聴履歴などを指す。図7は視聴者情報格納手段に格納される視聴者情報の一例である。この例では、家族一人一人について、氏名、属性、性別、過去に視聴した番組コンテンツを特定する番組IDを記録している。なお、視聴者情報は予め登録しておく必要がある。また、番組IDの登録は、例えばリモコン操作に家族のうち誰が番組を見ているのかを登録するボタン等の操作部を設けて番組を見る際は、操作することにより実現することができる。

【0036】図8は印刷されたクーポンの例である。なお、この例では商店でのクーポン情報読み取りの省力化や個人情報の漏洩を防止するためクーポン情報および視聴者情報をバーコードなど機械的に読み取ることが可能なコードに変換しとも印刷している。図8は印刷されたクーポンの例である。

【0037】印刷したクーポンを視聴者が商店に持参し利用する際、商店の店員はクーポン読取部507でクーポンからクーポン情報を読み取る。クーポン読取部507で読み取られたクーポン情報および視聴者情報はクーポン真贋判定部508に送信される。

【0038】クーポン真贋判定部508の処理を図9のフローチャートを利用して説明する。クーポン読取部507から送信されたクーポン情報および視聴者情報を受信すると（ステップ801）、クーポン情報格納部509内にステップ801で受信したクーポン情報が含まれているかどうかを判定し（ステップ802）、同一のクーポン情報が存在していなければ「贋」という結果をクーポン読取部507に返信する（ステップ803）。ステップ802で同一のクーポン情報が存在していれば「真」という結果をクーポン読取部507に返信する（ステップ804）。次にクーポン利用情報送信部511に対し、クーポン情報内の放送局IDが示す放送局内の放送局クーポン利用情報受信部512と、クーポン情報内の広告企業IDが示す広告企業内の広告企業クーポン利用情報受信部513へ視聴者情報およびクーポン情報を送信する旨の命令を出力する（ステップ805）。

【0039】なお、放送局クーポン利用情報受信部512および広告企業クーポン利用情報受信部513への情報送信はクーポン利用ごとに送信するという形態の他、所定期間はクーポン管理機関に蓄積しておき週末や月末などの特定のタイミングにまとめて送信しても良い。さらに、まとめて送信する場合は放送局ならびに広告企業がデータ解析しやすい形に予め統計処理済みのデータを含めて送信しても良い。

【0040】クーポン読取部507はクーポン真贋判定部508で判定された結果をクーポン真贋判定結果表示部510に表示させる。

【0041】以上のように本実施の形態によれば、クーポンの真贋判定に加え、クーポンを利用した際に得られ

るクーポン情報および視聴者情報を放送局および広告企業にフィードバックすることができ、放送局は番組作成上の情報として、広告企業は商品戦略および広告効果に関する情報として利用することが可能となる。

【0042】（実施の形態3）以下、本発明第三の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。図10は本実施の形態における放送システムの構成図である。図10において、901は番組配信部、902は番組受信手段、903はクーポン情報抽出手段、904はクーポン印刷画像作成手段、905は視聴者情報格納手段、906はクーポン印刷手段、907はクーポン読取部、908はクーポン判定部、909はクーポン情報格納部、910はクーポン利用履歴情報格納部、911はクーポン判定結果表示部、912はクーポン利用情報送信部、913は放送局クーポン利用情報受信部、914は広告企業クーポン利用情報受信部である。

【0043】番組配信部901、放送局クーポン利用情報受信部913は番組を放送する放送局内に、番組受信手段902、クーポン情報抽出手段903、クーポン印刷画像作成手段904、視聴者情報格納手段905、クーポン印刷画像印刷部906は番組視聴者の受信機または印刷装置（総称してクーポン発行部という）内に、クーポン読取部907、クーポン判定結果表示部911はクーポンの対象となる商品、サービスなどを提供する商店内に、クーポン判定部908、クーポン情報格納部909、クーポン利用履歴情報格納部910、クーポン利用情報送信部912はクーポン管理機関内に、広告企業クーポン利用情報受信部914はクーポンの対象となる製品を製造し、またはサービスを提供し、広告等を目的として放送局に対して番組にクーポン情報を番組コンテンツに含めて配信するよう依頼している企業（本実施例では広告企業と呼ぶ）内に設置されている。また本実施例の放送システムにおいて放送局、視聴者、商店、広告企業の数に制限はない。

【0044】以上のように構成された放送システムにおいて、以下その動作について説明する。放送局において番組配信部901はクーポン情報とクーポンの利用回数制限を含んだ番組コンテンツを視聴者に向けて放送する。クーポン情報とは番組配信部から配信される情報であって、視聴者の印刷機においてクーポンを印刷するために必要な情報やシステムでクーポンの不正を防ぐための情報で、例えば、クーポンによって視聴者の受けることができるサービスの内容、クーポンに表示される画像、クーポン情報を特定するクーポンID、放送局を特定する放送局IDや広告企業を特定する広告企業ID（総称して受信部ID）などに加え、番組コンテンツを特定することができる番組ID等をいう。図11は配信されるクーポン情報の例である。なお図11の例ではほとんどのクーポン情報がテキストの形で記述されているが、バイナリデータなどに変換して情報量を圧縮しても良い。

【0045】なお、クーポン情報は放送される以前に放送局からクーポン管理機関内のクーポン情報格納部909へ格納されている。クーポン情報をクーポン情報格納部909に格納する方法は、例えば放送局とクーポン管理機関がネットワークでつながれており、このネットワークを用いて、番組放送前または番組放送時にクーポン情報をクーポン情報格納部909に格納する方法や、クーポン情報を可搬型記録媒体に記録し、前記可搬型記録媒体を放送局からクーポン管理機関に送付し、前記媒体を受けたクーポン管理機関がクーポン情報格納部909に格納する方法が想定される。

【0046】クーポン情報抽出手段903は番組受信手段902が受信した番組コンテンツからクーポン情報を抽出する。

【0047】クーポン印刷画像作成手段904はクーポン情報抽出手段903で抽出されたクーポン情報と視聴者情報格納手段905内に格納されている視聴者情報を含んだクーポン1枚1枚を識別するための印刷クーポンIDを生成すると共に、クーポン印刷画像を作成してクーポン印刷手段906に印刷させる。

【0048】ここで、視聴者情報とは、視聴者の氏名などの個人情報、視聴者を特定するための視聴者ID、どの番組を視聴していたかという視聴履歴、クーポンを同一のクーポンIDに対して何回印刷したかという印刷回数等をいう。図12は視聴者情報の例を示したものである。図12は視聴者情報格納手段に格納される視聴者情報の一例である。この例では、家族一人一人について、氏名(視聴者ID)、属性、性別、過去に視聴した番組コンテンツを特定する番組ID、同一のクーポンIDに対して何回印刷したかの印刷履歴を記録している。なお、視聴者情報は予め登録しておく必要がある。また、番組IDの登録は、例えばリモコン操作に家族のうち誰が番組を見ているのかを登録するボタン等の操作部を設けて番組を見る際は、操作することにより実現することができる。

【0049】また、印刷クーポンIDとは、例えばクーポン情報、視聴者ID、番組ID、印刷回数を順番に並べたものであるが、他の方法で印刷クーポンIDを作成しても良い。ただし、印刷したクーポン1枚1枚が識別できるものである。なお、印刷されるクーポンには、前記印刷クーポンIDが含まれて印刷される。

【0050】図13は印刷されたクーポンの例である。なお、この例では商店でのクーポン情報読み取りを容易にするためクーポン情報および視聴者情報をバーコードなど機械的に読み取り可能なバーコードに変換して印刷している。

【0051】印刷したクーポンを視聴者が商店に持参し利用する際、商店の店員はクーポン読取部907でクーポンから印刷クーポンIDを読み取る。クーポン読取部907で読み取られた印刷クーポンIDはクーポン判定

部908に送信される。

【0052】また、図14は、クーポン利用履歴情報格納部が保持する利用履歴情報を示したものである。この例では、クーポンID、利用制限回数、視聴者ID、利用履歴を保持している。

【0053】クーポン判定部908の処理を図15のフローチャートを用いて説明する。クーポン読取部907から送信された印刷クーポンIDを受信すると(ステップ1201)、クーポン情報格納部909内にステップ1201で受信したクーポン情報が含まれているかどうか判定し(ステップ1202)、同一のクーポン情報が存在していなければ“質”という結果をクーポン読取部907に返信する(ステップ1203)。ステップ1202で同一のクーポン情報が存在していれば、次に各クーポンIDの各視聴者IDに対応するこれまでの利用回数(既利用回数)を格納しているクーポン利用履歴情報格納部910内のクーポン利用履歴を参照し、番組配信部901から配信されるクーポン利用回数制限回数と、クーポン利用履歴情報格納部910が保持する前記クーポン情報に対応するクーポン利用回数とを比較し(ステップ1204)、利用制限回数以上であれば“利用不可”という情報をクーポン読取部907に対して返信する(ステップ1205)。ステップ1204で利用履歴が利用制限数以下であれば、“利用可能”という情報をクーポン読取部907に対して返信する(ステップ1206)。次にクーポン利用情報送信部912に対し印刷クーポンID内の放送局IDが示す放送局の放送局クーポン利用情報受信部913と、広告企業IDに対応する広告企業の広告企業クーポン利用情報受信部914にそれぞれに印刷クーポンIDの送信命令を出す(ステップ1207)し、最後にクーポン利用履歴情報格納部910に対し、該当クーポン情報の利用回数の更新命令を行う(ステップ1208)。

【0054】なお、この実施例では、各視聴者IDごとにクーポンの利用制限をしたが、家族全体に一つのIDを付与し、そのIDを基に利用制限を行っても良い。

【0055】なお、放送局クーポン利用情報受信部913および広告企業クーポン利用情報受信部914への情報送信はクーポン利用ごとに送信される形態の他、所定期間クーポン管理機関に蓄積しておき週末や月末などの特定のタイミングにまとめて送信しても良い。またまとめて送信する場合、クーポン管理機関において放送局ならびに広告企業がデータ解析しやすい形に統計処理しても良い。

【0056】クーポン読取部907はクーポン判定部908で判定された結果をクーポン判定結果表示部911に表示させる。

【0057】以上のように本実施例によれば、第一の実施例、第二の実施例の効果に加え、複数の番組から同一サービス内容のクーポンを複数枚コピーし、複数の商店

でクーポンを利用しようとした場合でも、同一内容のクーポンをクーポンの利用履歴をクーポン管理機関で一元管理することにより、予め定めたクーポン利用回数内でのみクーポンの利用を可能とすることができる。

【0058】

【発明の効果】以上の様に本発明によれば、たとえクーポンが偽造されたとしてもその利用を防止することができるという効果を有する。

【0059】また、クーポンを利用した際に得られるクーポン情報、視聴者情報を放送局やクーポンの広告企業にフィードバックすることができ、クーポンの利用に伴い得られたどの番組から配信されたクーポン情報か、クーポンを利用した人は今までどのようなクーポンを印刷したのかなどの情報をマーケティング情報や視聴者嗜好情報として利用することも可能となるという効果も有する。

【0060】さらに、クーポンの利用回数制限をかけることも可能な放送システムを提供することができ、クーポンの広告企業の便宜にも供することができるという効果も有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明第一の実施例におけるシステム全体の構成図

【図2】本発明第一の実施例におけるクーポン情報の例を示す図

【図3】本発明第一の実施例における印刷されたクーポンの例を示す図

【図4】本発明第一の実施例におけるクーポン真贋判定部107の処理を示すフローチャート

【図5】本発明第二の実施例におけるシステム全体の構成図

【図6】本発明第二の実施例におけるクーポン情報の例を示す図

【図7】本発明第二の実施例における視聴者情報の例を示す図

【図8】本発明第二の実施例における印刷されたクーポンの例を示す図

【図9】本発明第二の実施例におけるクーポン真贋判定部508の処理を示すフローチャート

【図10】本発明第三の実施例におけるシステム全体の構成図

【図11】本発明第三の実施例におけるクーポン情報の

例を示す図

【図12】本発明第三の実施例における視聴者情報の例を示す図

【図13】本発明第三の実施例における印刷されたクーポンの例を示す図

【図14】クーポン利用履歴情報格納部が保持する利用履歴情報の例を示す図

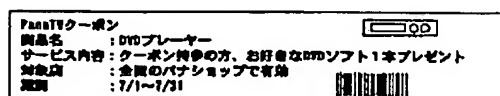
【図15】本発明第三の実施例におけるクーポン真贋判定部908の処理を示すフローチャート

【図16】従来の放送システムの構成図

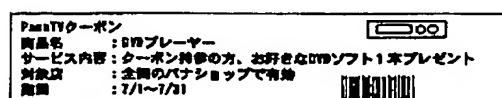
【符号の説明】

101、501、901	番組配信部
102、502、902	番組受信手段
103、503、903	クーポン情報抽出手段
104、504、904	クーポン印刷画像作成手段
105、506、906	クーポン印刷手段
106、507、907	クーポン読取部
107、508	クーポン真贋判定部
108、509、909	クーポン情報格納部
109、510	クーポン真贋判定表示部
505、905	視聴者情報格納手段
511、912	クーポン利用情報送信部
512、913	放送局クーポン利用情報受信部
513、914	広告企業クーポン利用情報受信部
908	クーポン判定部
910	クーポン利用履歴情報格納部
911	クーポン判定結果表示部
1301	放送局
1302	モニタ
1303	データ受信回路
1304	記憶装置
1305	表示I/F
1306	入力装置
1307	処理回路
1308	識別情報回路
1309	印字I/F
1310	モニタ
1311	プリンタ
1312	リモコン

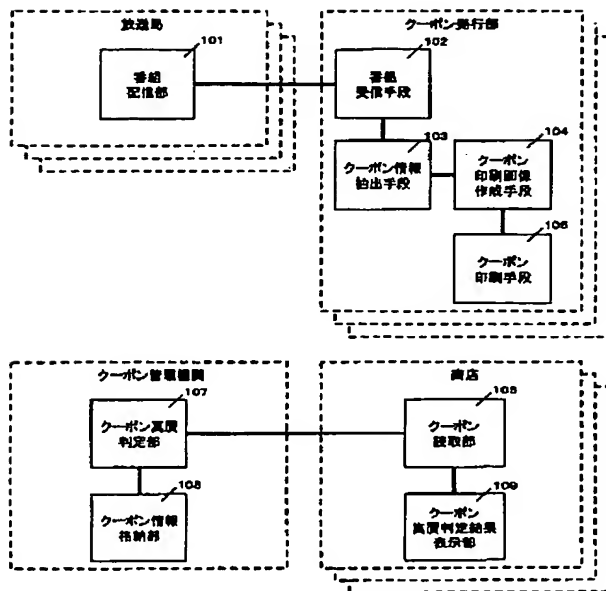
【図3】




【図8】



【図1】



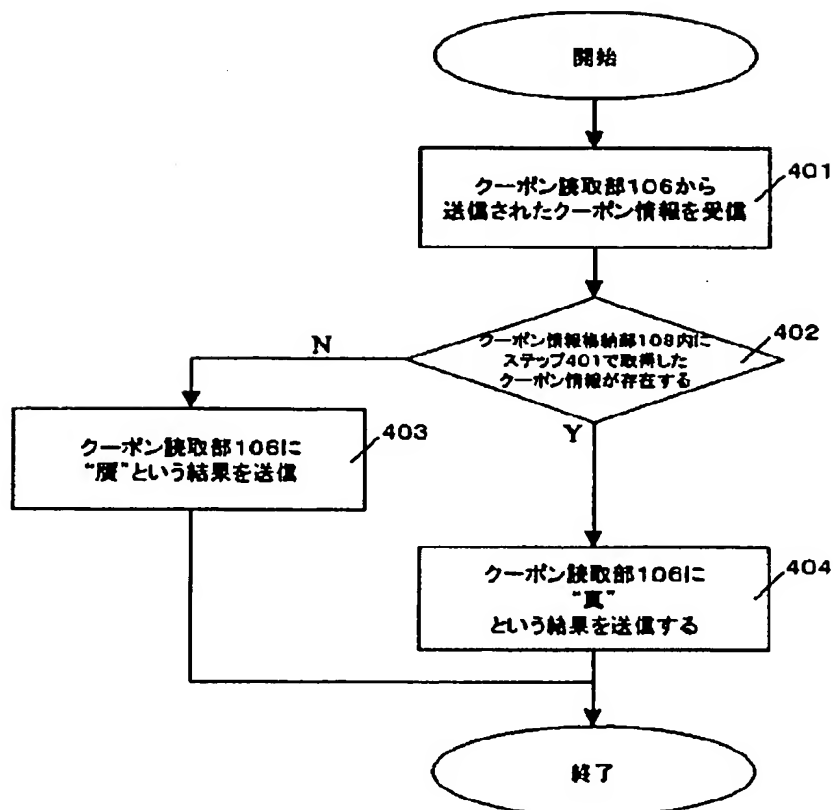
【図2】

0123456789	← クーポンID
P2221311	← 番組ID
DVD/CDプレーヤー DVD-H1000	← クーボンの対象となる商品情報
クーポン持参の方、お好きなDVDソフト1本プレゼント	← クーボンのサービス内容
全国のパナショップで有効	← クーボンが有効な商店の情報
7/1~7/31	← クーボンの有効期間
	← 商品イメージ画像

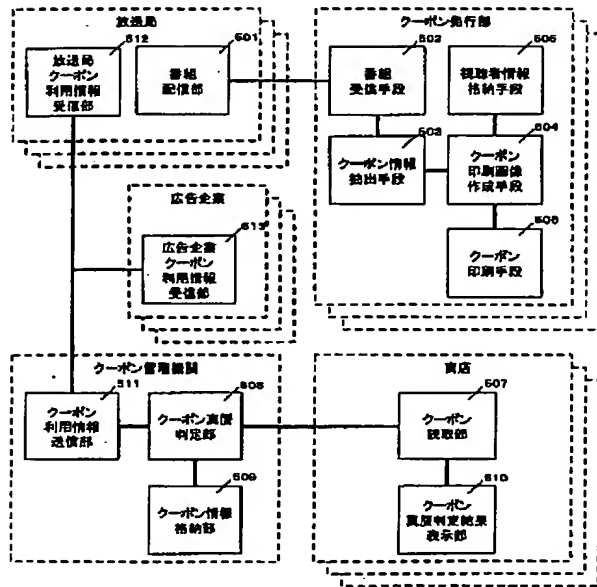
【図13】

PanaTVクーポン	
商品名	: DVDプレーヤー
サービス内容	: クーボン持参の方、お好きなDVDソフト1本プレゼント
対象店	: 全国のパナショップで有効
期間	: 7/1~7/31
ご利用回数	: 8回までご利用いただけます
クーポンID	: 0123456789abcd2


【図4】



【図5】



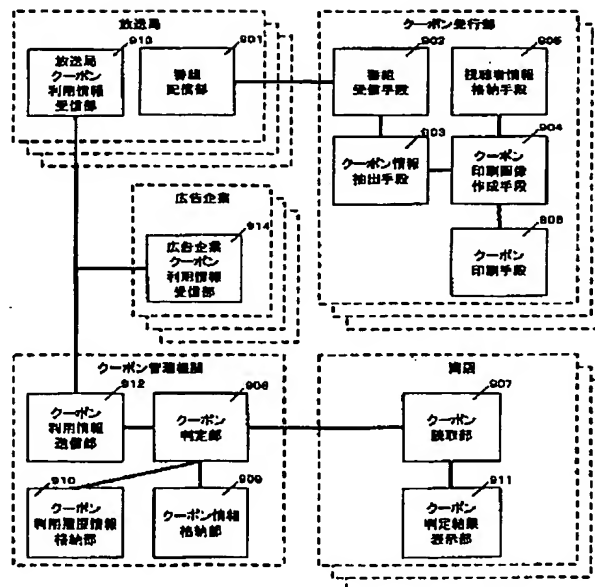
【図6】

0123456789	←クーポンID
P225211119	←番組ID
DVD&CDプレーヤー DVD-H1000	←クーポンの対象となる商品情報
クーポン持参の方、お好きなDVDソフト1本プレゼント	←クーポンのサービス内容
全国のパナショップで有効	←クーポンが有効な商店の情報
7/1~7/31	←クーポンの有効期間
	←商品イメージ画像
00101	←放送局ID
20131	←広告企業ID

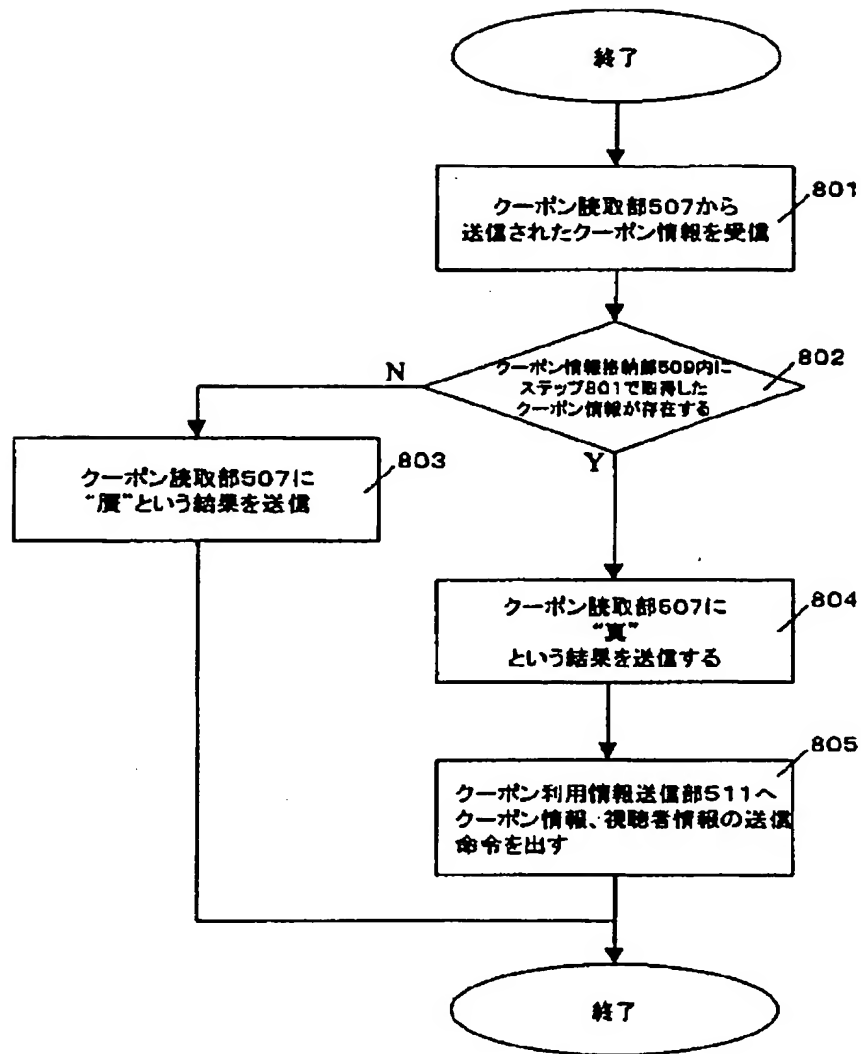
【図7】

視聴者情報				
氏名	属性	年齢	性別	視聴履歴 (番組 ID)
X下X夫	父	48	男	P12345 P12456 .
X下O子	母	40	女	P34521 P60321 .
X下△太	長男	12	男	P02481 P55709 .
X下□子	長女	10	女	P03887 P67681 .


【図10】



【図9】



【図11】

0123456789	← クーポンID
P231279901	← 番組ID
DVD/CDプレーヤー DVD-H1000	← クーポンの対象となる商品情報
クーポン持参の方、お好きな DVDソフト1本プレゼント	← クーポンのサービス内容
全国のバナシショップで有効	← クーポンが有効な商店の情報
7/1~7/31	← クーポンの有効期間
	← 商品イメージ画像
00101	← 放送局ID
20181	← 広告企業ID
3	← 利用制限情報

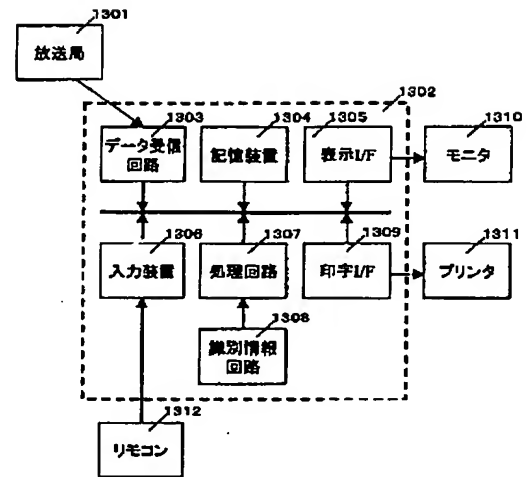
【図12】

視聴者情報						
氏名 (視聴者ID)	属性	年齢	性別	視聴番組 (番組ID)	クーポン発行履歴	
					クーポンID	回数
X下△太 M2918171	父	45	男	P12345	K_ID34567	1
				P12456	K_ID67891	2
				.	.	.
X下○子 M2918172	母	40	女	P34521	K_ID21009	1
				P90321	K_ID90011	2
				.	.	.
X下△太 M2918173	長男	12	男	P02481	K_ID11111	3
				P80709	.	.
				.	.	.
X下○子 M2918174	長女	10	女	P09807	K_ID34518	3
				P67851	.	.
				.	.	.

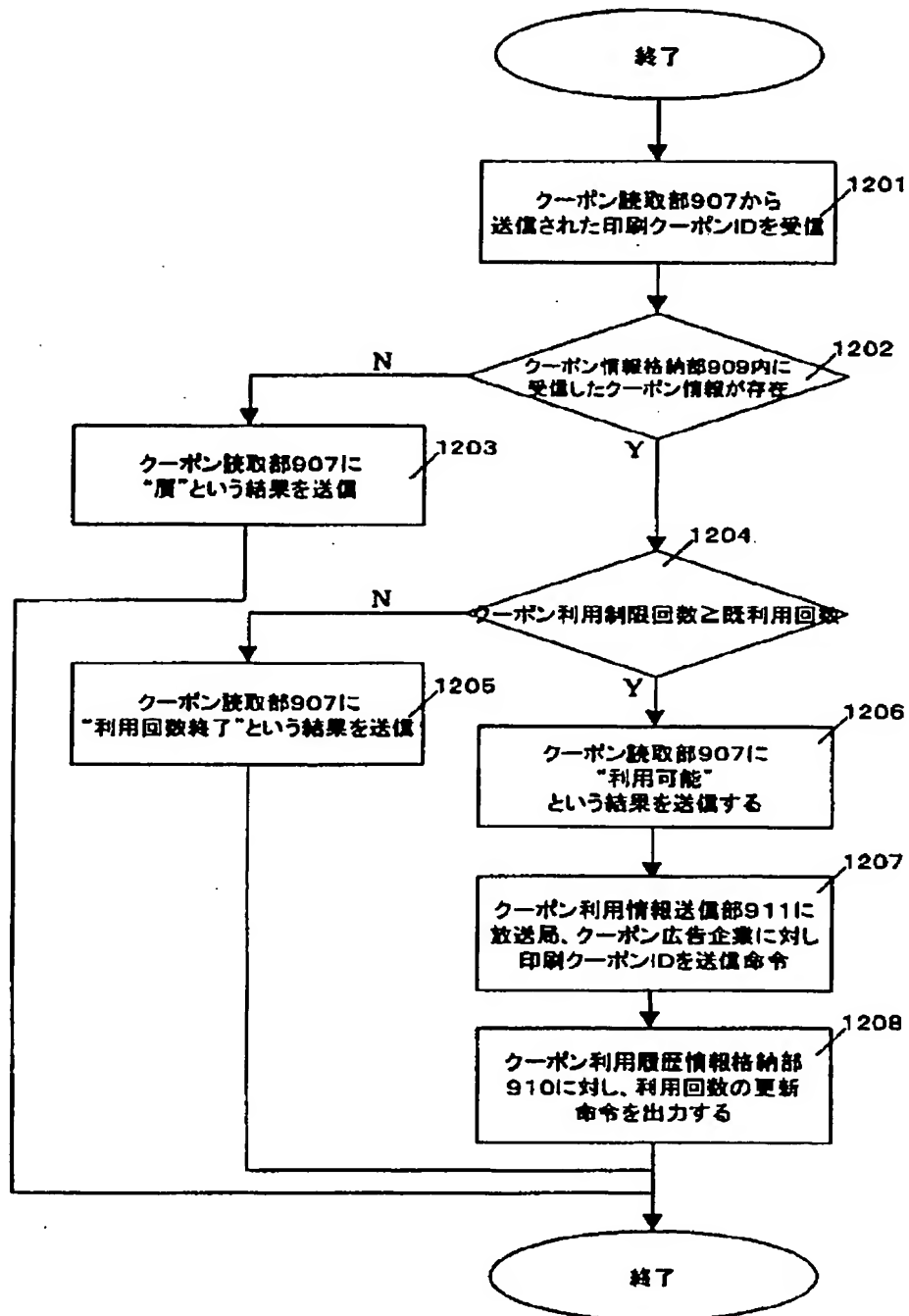
【図14】

クーポン利用履歴情報			
クーポンID	利用制限回数	振替者ID	利用履歴
K_ID28911	3	M_ID39181	2
K_ID38910	5	M_ID39191	2
K_ID76811	6	M_ID29178	4

【図16】



【図15】



フロントページの続き

(72)発明者 伊藤 正雄
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

Fターム(参考) 5C063 AB05 AC10 DA20
5C064 BA01 BD02 BD16